

東北地方 1か月予報

(8月7日から9月6日までの天候見通し)

平成22年8月6日
仙台管区気象台発表

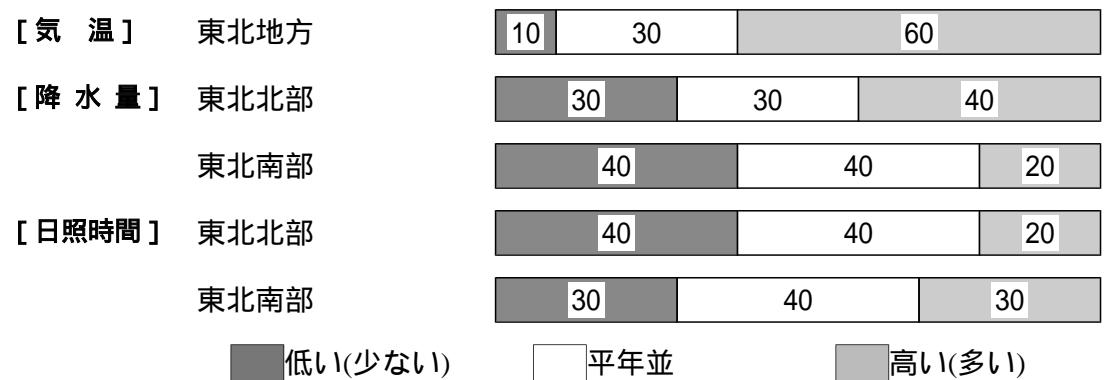
<特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に気温の高い状態が続き、東北南部では降水量が少ない見込みです。

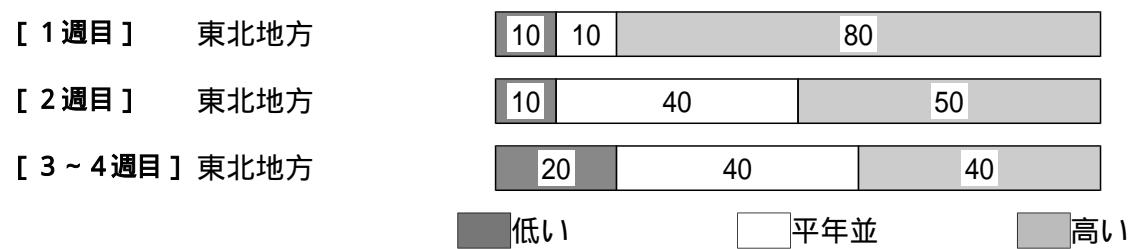
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
向こう1か月の気温は、高い確率が60%です。東北南部の降水量は、平年並または少ない確率がともに40%です。東北北部の日照時間は、平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は高い確率が80%、2週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月 7日(土) ~ 9月 6日(月)
1週目 : 8月 7日(土) ~ 8月 13日(金)
2週目 : 8月 14日(土) ~ 8月 20日(金)
3~4週目 : 8月 21日(土) ~ 9月 3日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は8月13日
3か月予報: 8月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	22.5	131.0	184.4	23.5	23.1	22.0
深浦	22.6	165.6	180.2	23.5	23.2	22.2
むつ	21.2	148.5	146.9	22.0	21.7	20.8
八戸	21.8	150.1	165.0	22.7	22.4	21.4
秋田	24.0	184.8	195.4	24.9	24.8	23.5
盛岡	22.5	175.0	151.0	23.6	23.3	22.0
大船渡	22.5	206.6	151.3	23.3	23.1	22.2
宮古	21.8	185.2	156.1	22.5	22.3	21.5
仙台	23.6	177.9	147.4	24.4	24.1	23.3
石巻	23.1	130.2	169.3	23.7	23.6	22.9
山形	24.0	145.1	176.2	25.0	24.7	23.6
新庄	23.3	165.0	167.0	24.3	24.1	22.8
酒田	24.3	181.8	203.3	25.3	25.1	23.9
福島	24.7	141.6	150.2	25.6	25.3	24.3
若松	24.2	124.3	188.8	25.1	24.9	23.8
白河	22.8	225.0	147.6	23.6	23.4	22.5
小名浜	23.8	145.2	186.3	23.9	24.1	23.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.5	73 ~ 119	89 ~ 109
東北日本海側	-0.4 ~ +0.6	77 ~ 109	92 ~ 109
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.6	68 ~ 121	88 ~ 110
東北北部	-0.4 ~ +0.5	80 ~ 107	87 ~ 109
東北南部	-0.3 ~ +0.6	66 ~ 120	92 ~ 108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +1.0	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.8
東北日本海側	-0.8 ~ +1.0	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.7 ~ +1.2	-0.6 ~ +0.9	-0.4 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成22年8月6日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月7日~9月6日):

東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

なお、期間の前半を中心に気温の高い状態が続き、東北南部では降水量が少ない見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。東北南部の降水量は、平年並または少ない確率がともに40%です。東北北部の日照時間は、平年並または少ない確率がともに40%です。

1週目(8月7日~8月13日):

期間の前半は高気圧におおわれて晴れる日が多いでしょう。期間の後半は、気圧の谷の影響で曇りや雨の見込みです。

平均気温は高い確率が80%です。

2週目(8月14日~8月20日):

気圧の谷や前線の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

3~4週目(8月21日~9月3日):

気圧の谷や前線の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

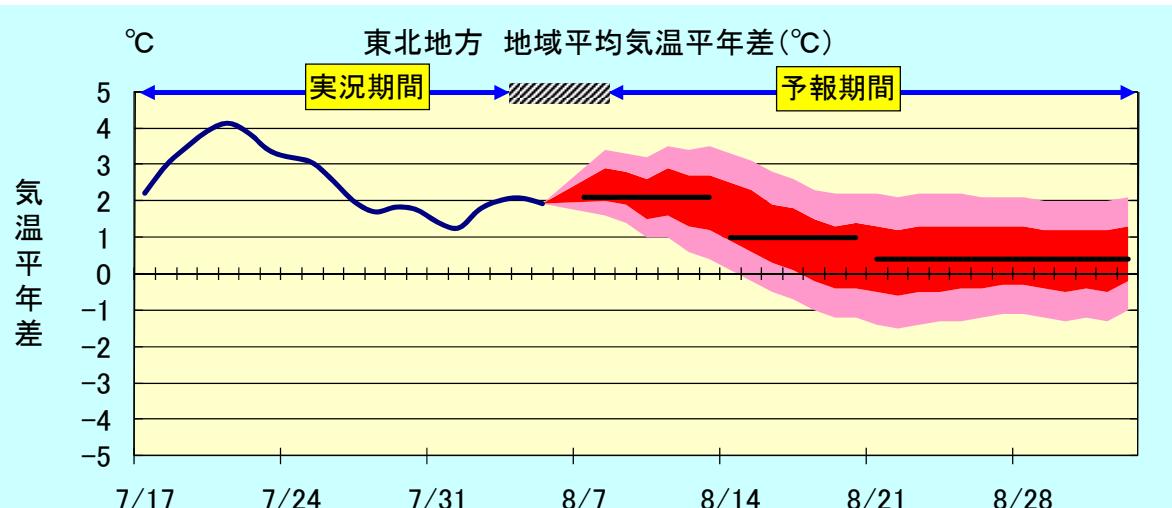
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.3日	4.5日	4.1日	7.7日
東北太平洋側	14.1日	4.0日	3.5日	6.6日
東北北部	14.3日	4.0日	3.5日	6.8日
東北南部	15.6日	4.4日	3.9日	7.3日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年を上回り、3~4週目は平年付近の予想となっている。



・グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。

・予報期間には7日間平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示。

・水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。

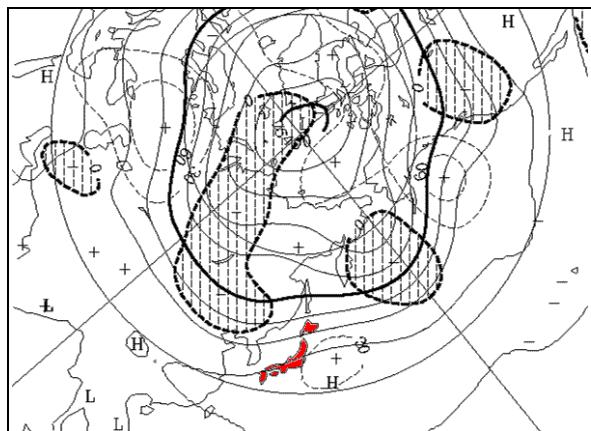
・ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 本州付近から日本の東は正偏差が明瞭で、華北付近は気圧の谷となり、北日本を中心に西谷傾向となる。高温が予想されるが、北日本は太平洋高気圧の縁にあたり、気圧の谷や前線の影響を受けやすい。

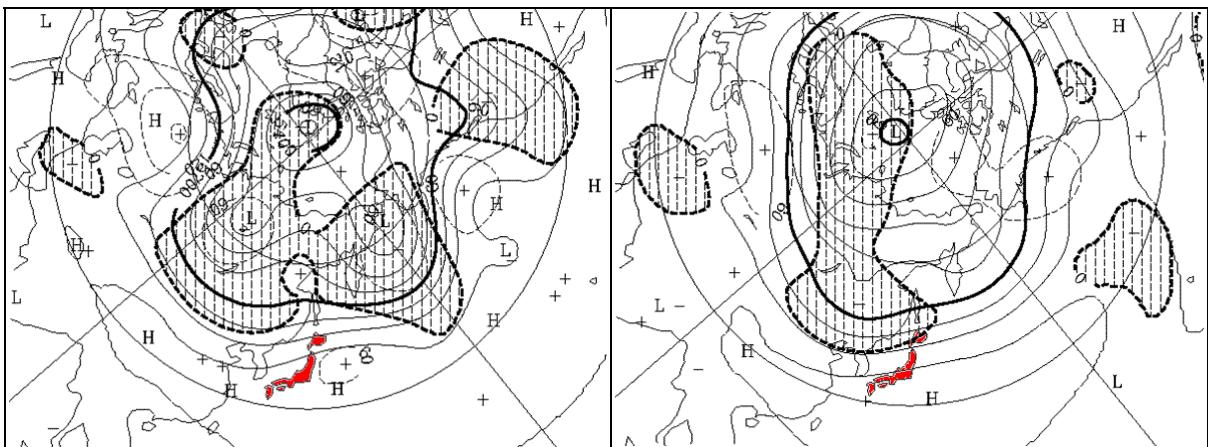
1週目: 日本付近は広く正偏差におおわれ、日本の東は正偏差が明瞭で、太平洋高気圧が強まり、高温が予想される。中央シベリアは広く負偏差となり、東北地方は西谷傾向となり、気圧の谷や前線の影響を受けやすい。

2週目: 日本付近は引き続き広く正偏差におおわれ、高温が予想される。中央シベリアから北海道付近にかけて負偏差となり、東北地方は引き続き西谷傾向で、気圧の谷や前線の影響を受けやすい。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

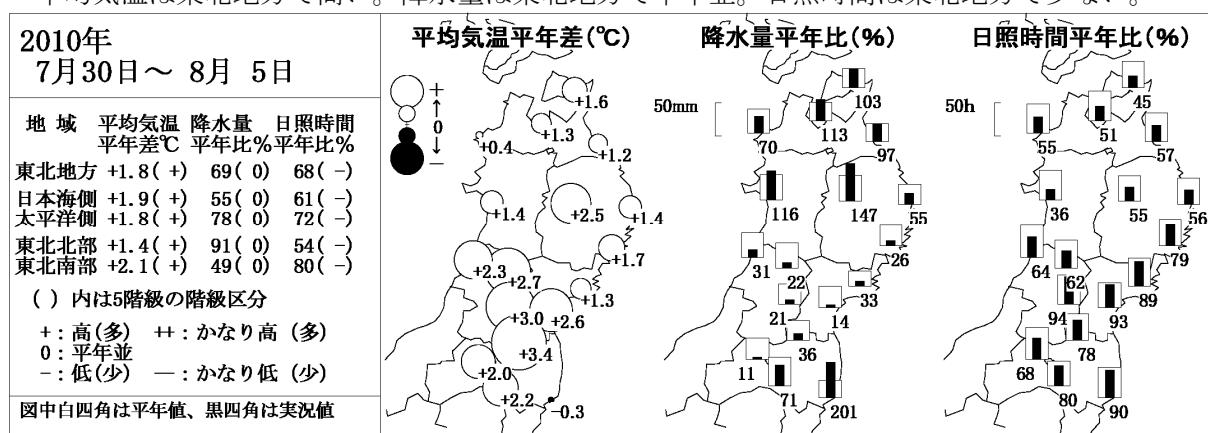
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (7月30日～8月5日) の天候の経過

この期間、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。期間を通して大気の状態が不安定で、30日と2日は秋田県、岩手県、福島県で局地的大雨による浸水害や山がけ崩れ害などが発生した。期間の終わりは高気圧におおわれ晴れて、5日は各地で最高気温が35度以上になった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)